

## 式 辞

厳しい寒さもようやく終わりを告げ、校庭の桜は蕾をしっかりと膨らませてきました。この佳き日に、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、平成26年度卒業式を挙げていただけますことは、私どものこの上ない喜びであります。高いところからではございますが心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。入学から今日までの六年間、様々なご苦勞もあったことと思いますが、本日ここに立派に成長し、岩倉南小学校を巣立とうとしているお子様を目の前にして、感無量のこととご推察申し上げます。誠にありがとうございます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。六年前、皆さんはお家の方に手を引かれ、今では小さく感じるランドセルを背負い、小学校に入学してきました。PTA新聞でも紹介しましたが、実は私のこの小学校での生活が始まったのも、皆さんと同じ六年前の四月からです。皆さんと同じ六年間をこの学校で送ってきました。一年生の春の遠足御土井公園にも一緒に行きました。一年生の算数の授業や、三年生の書写の授業でも、皆さんの多くと一緒に勉強してきました。あのときのあのやんちゃ坊主が、あの日のあの泣き虫さんが・・・と思いながら、今皆さん一人一人の手に「卒業証書」をお渡ししました。立派に成長した皆さんの様子に、私も感無量です。

皆さんの成長をはっきりと示すものの一つに、集団としてのまとまりの強さがあります。5年生の野外学習でのキャンプファイヤー、運動会の組立体操、そして南っ子発表会の劇「ヒロシマのうた」の取組。練習の過程にできる限り顔を出して、私はその取組の様子を見てきましたが、皆さんは一つ一つの活動にみんなで力を合わせて取り組みながら、その結束を着実に強めてきました。卒業生を送る会の合唱が、お互いに信頼し合うことで大人っぽくなった皆さん成長ぶりを、確かに証明していました。

この成長を支えたのは、日頃の生活、日頃の授業の積み重ねです。日常生活の中で人間関係を豊かにし、授業の中でも互いに関わりながら知識を増やし、知恵を育み合ってきました。特に皆さんが力をつけたのは「聴く」力だったと思います。耳を澄まして聴く。聴く事で相手のことを理解し、自分のことも見つめられるようになります。聞く力を伸ばしたからこそ、皆さんは互いに信頼しあうことができたし、自分自身を大人っぽく成長させることができたのだと思います。

これから皆さんは、更に大きく、大人への階段を上っていきます。

世界ではいくつもの正義がぶつかり合い、そこで多くの争いが生まれています。私たち日本人も、その争いの中に巻き込まれていく危険性を抱えています。今こそ、皆さんにはこれまで育ててきた「聴く」力を大切にしながら、更に相手の考えを丁寧に聴く。

まずは、これから始まる新しい生活の中で、素敵な学級を、素敵な学校生活を作ってください。それが皆さんの輝かしい未来に必ずつながっていきます。

この六年間で皆さん自身が育んだ「結束力」そして「聞く力」に自信をもって、胸を張って巣立って行ってください。

また、この巣立ちに当たり、六年間お世話になった家族や地域の方々に「ありがとうございました。」と、感謝の気持ちをぜひ伝えてください。

別れのときが近づきました。名残は尽きませんが、卒業生の皆さんの輝ける未来に、幸多からんことをお祈りして、式辞といたします。

平成26年 3月20日

岩倉市立岩倉南小学校長  
有 尾 幸 市